

別添資料：イノシシの生息状況（速報）

1. 生息密度

大山山塊の4つのユニット（図1）で実施されている、RESTモデルによる生息密度推定結果について、最新の6月末～9月頭の結果を表1に、過年度からの生息密度の変化を図2に示す。

低密度であるユニットは、ユニット2（中央値1.47頭/km²）であった。現在9～11月の結果を取りまとめ中である。

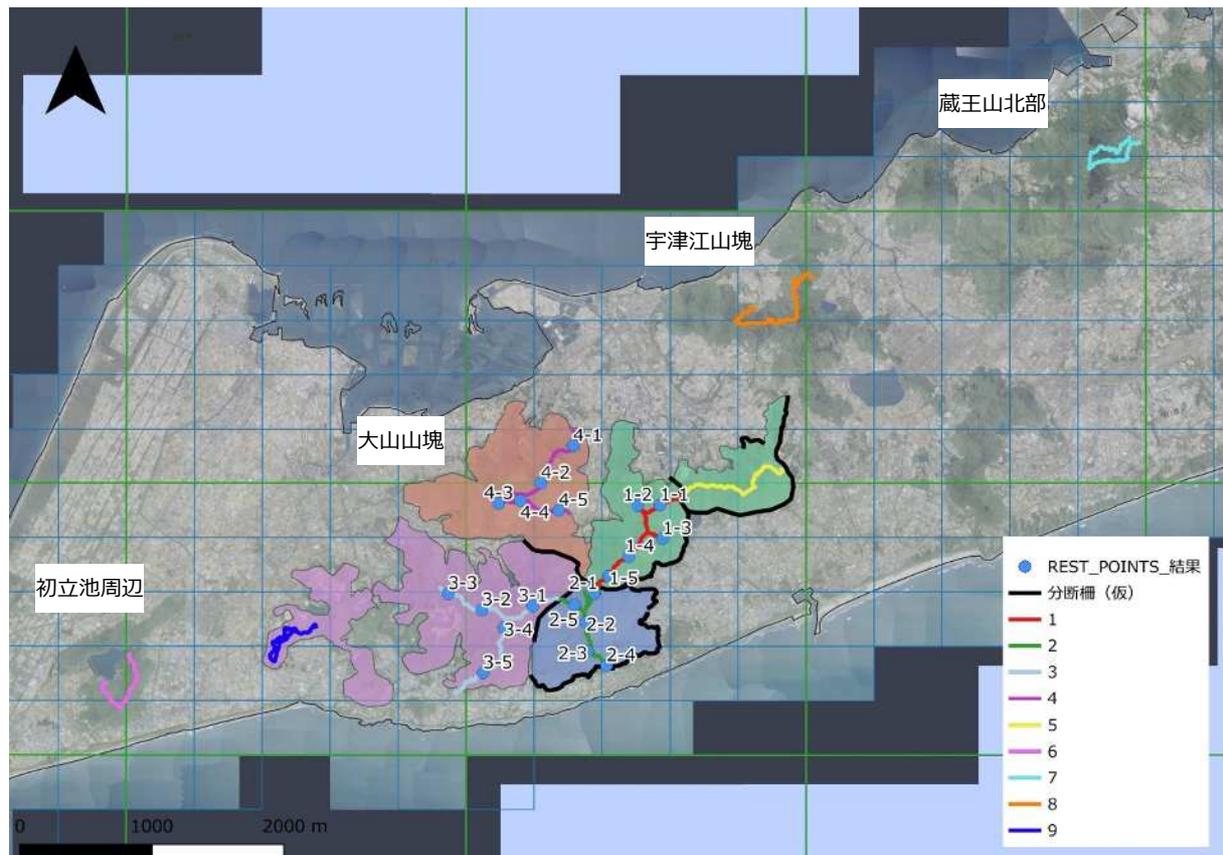


図1 大山山塊におけるRESTモデル用のカメラ設置位置及びフィールドサイン調査ルート

表1 令和3年6月末～9月頭の期間における生息密度推定結果

変数	ユニット	平均	標準偏差	2.5%	25%	50%	75%	97.5%	Rhat	n.eff
生息密度 (頭/km ²)	1	7.26	4.98	0.68	3.53	6.27	9.93	19.52	1.00	12000
	2	2.11	2.30	0.41	1.00	1.47	2.28	9.07	1.00	3200
	3	11.43	6.58	1.32	6.43	10.67	15.52	26.19	1.00	30000
	4	9.27	6.05	0.77	4.55	8.24	12.97	23.39	1.00	13000

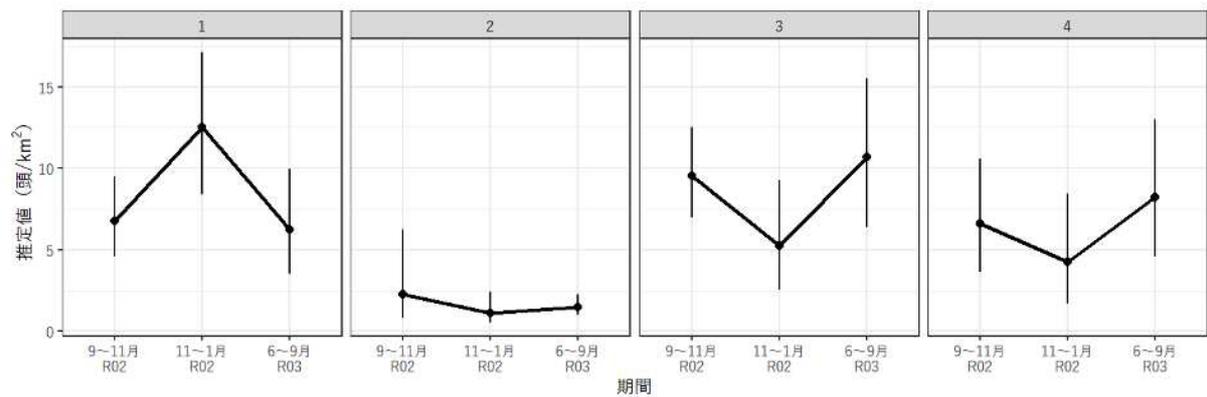


図 2 各ユニットにおける生息密度の変化

※ エラーバーは 50%信用区間を示す。

2. 自動撮影カメラ（静止画）による撮影頻度

大山においては、令和元年度より自動撮影カメラ（静止画）による撮影頻度のモニタリングが行われている。各地点の撮影頻度の変化を図 3 に示す。ユニット 1 及びユニット 2 の各地点では継続的に撮影頻度が低かった。また、大山の南西部（E-07, E-08, D-08, E-09, D-09 周辺）では比較的撮影頻度が低い傾向が見られた。

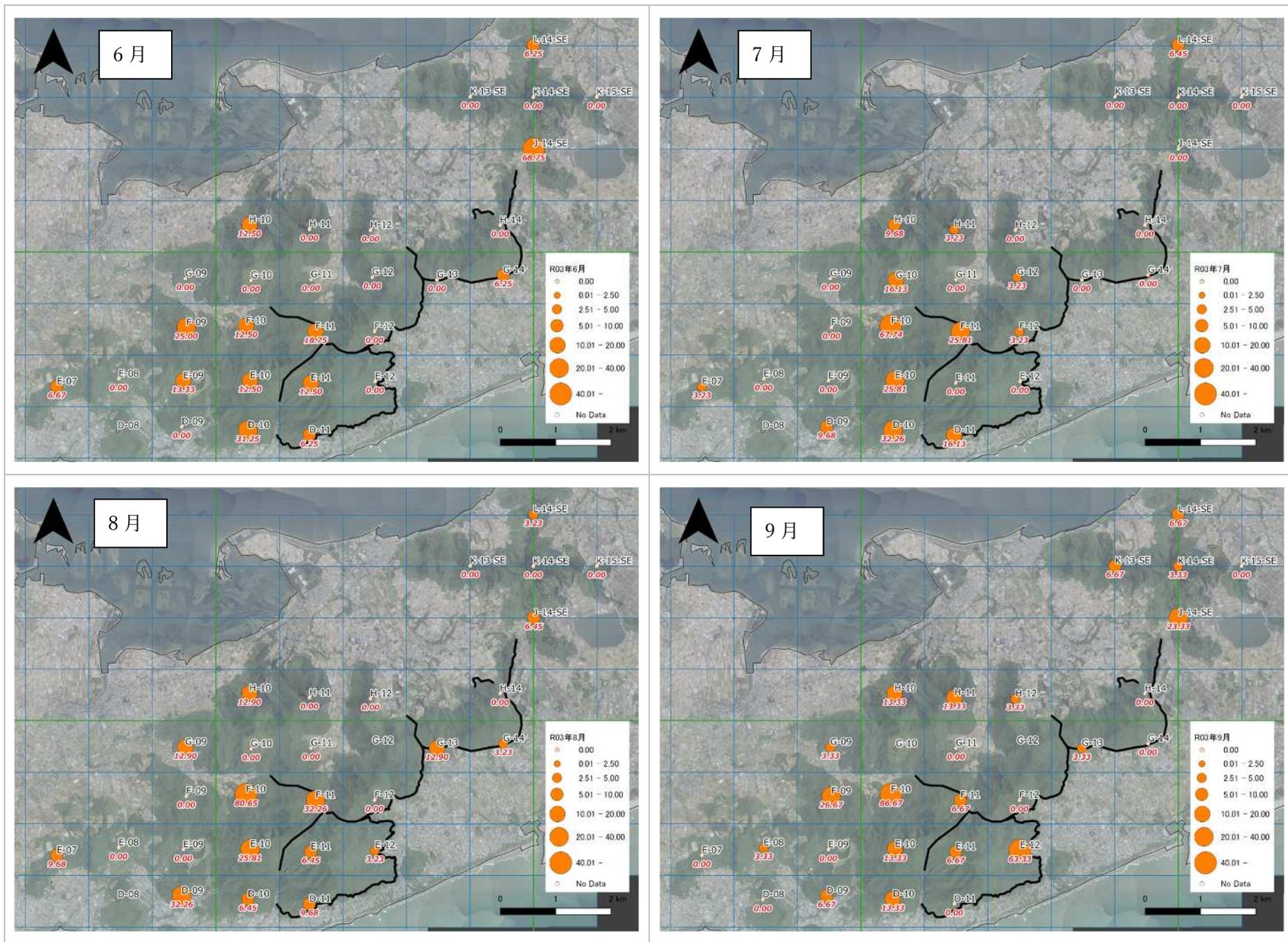


図 3 令和 3 年 6 月～9 月の撮影頻度

3. 時間帯別の出没状況

令和3年度6～9月において、各地点のイノシシの撮影が行われた時間帯を図4に示す。D-10、H-10では日中に成獣の撮影が比較的多く確認された。

当該場所では日中の誘因狙撃ができる可能性がある。

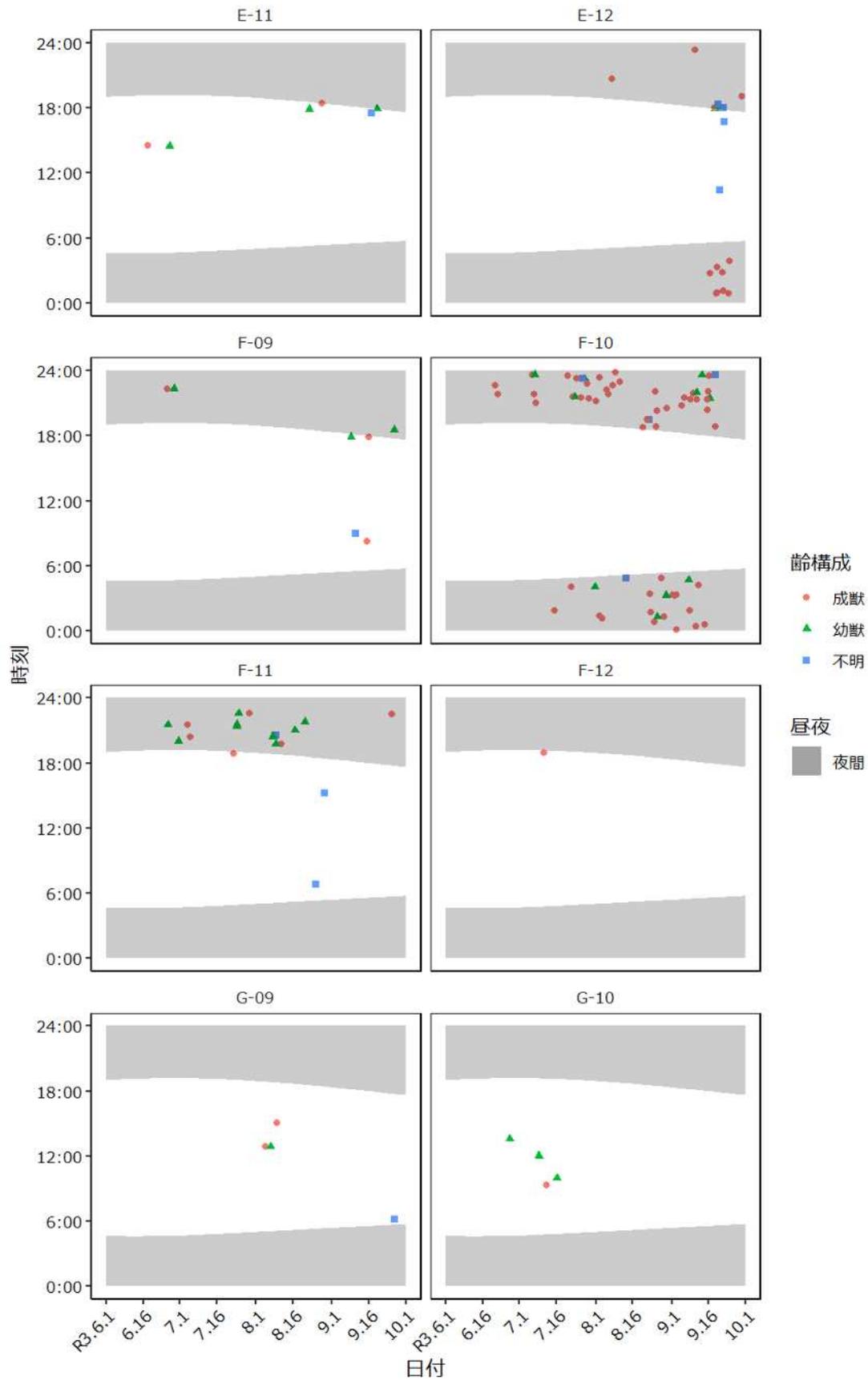


図- 4(2) 各地点のイノシシ撮影時間帯

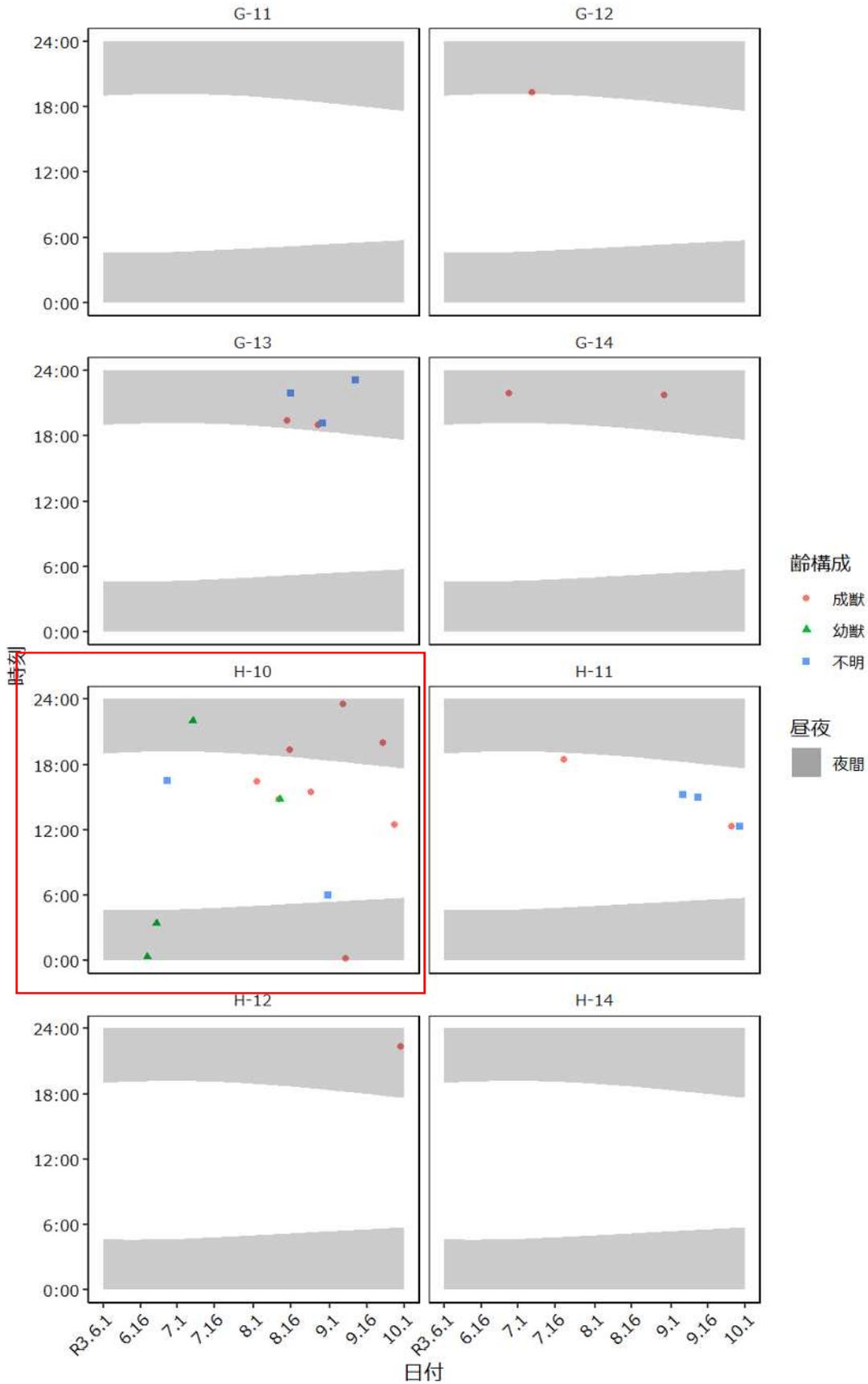


図- 4(3) 各地点のイノシシ撮影時間帯

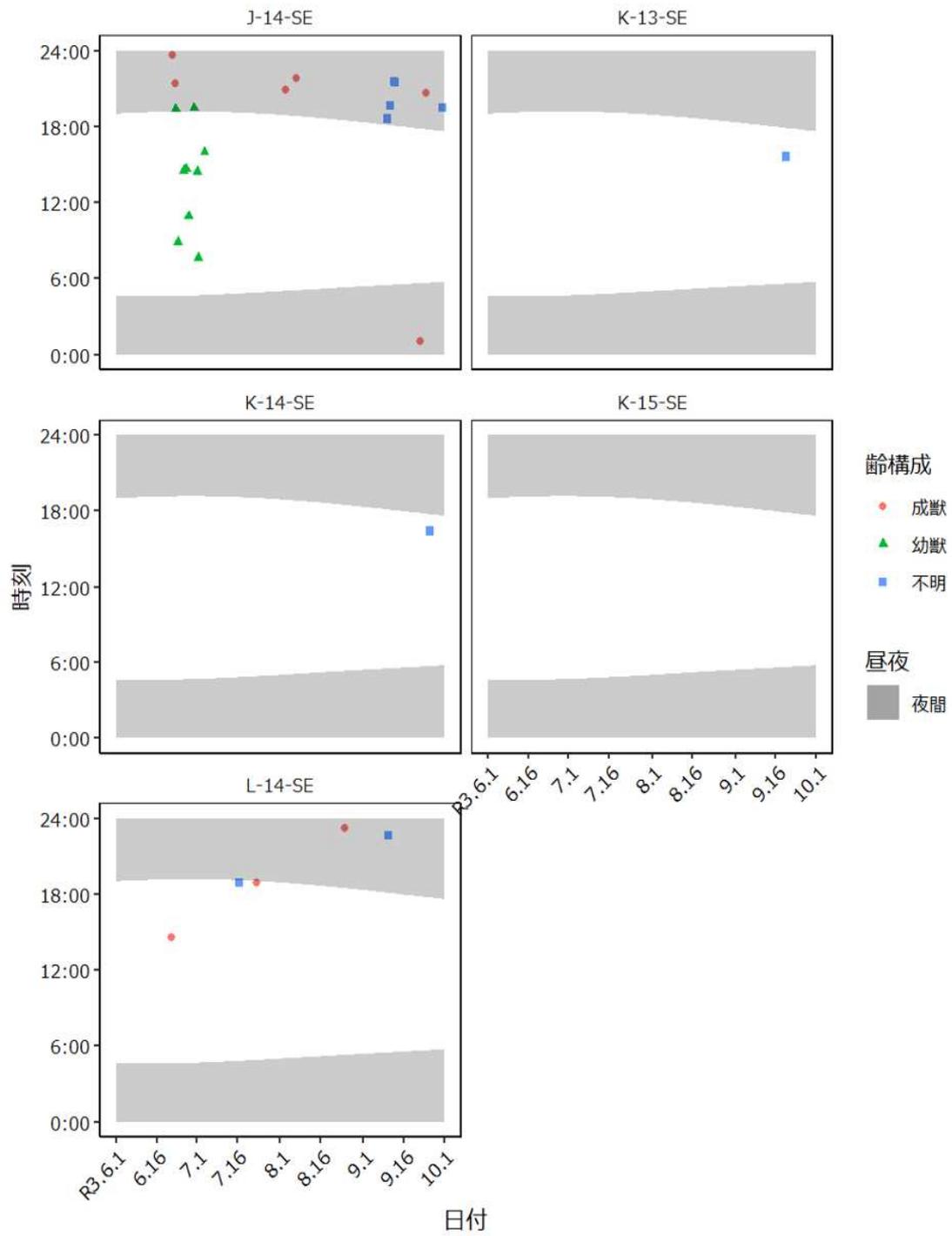


図- 4(3) 各地点のイノシシ撮影時間帯

4. 試験捕獲候補箇所

1. ～3. の結果や、捕獲従事者によるイノシシ出没傾向、関係者の調整可能性等を踏まえ、候補となるエリアを図 5 に絞り込んだ。

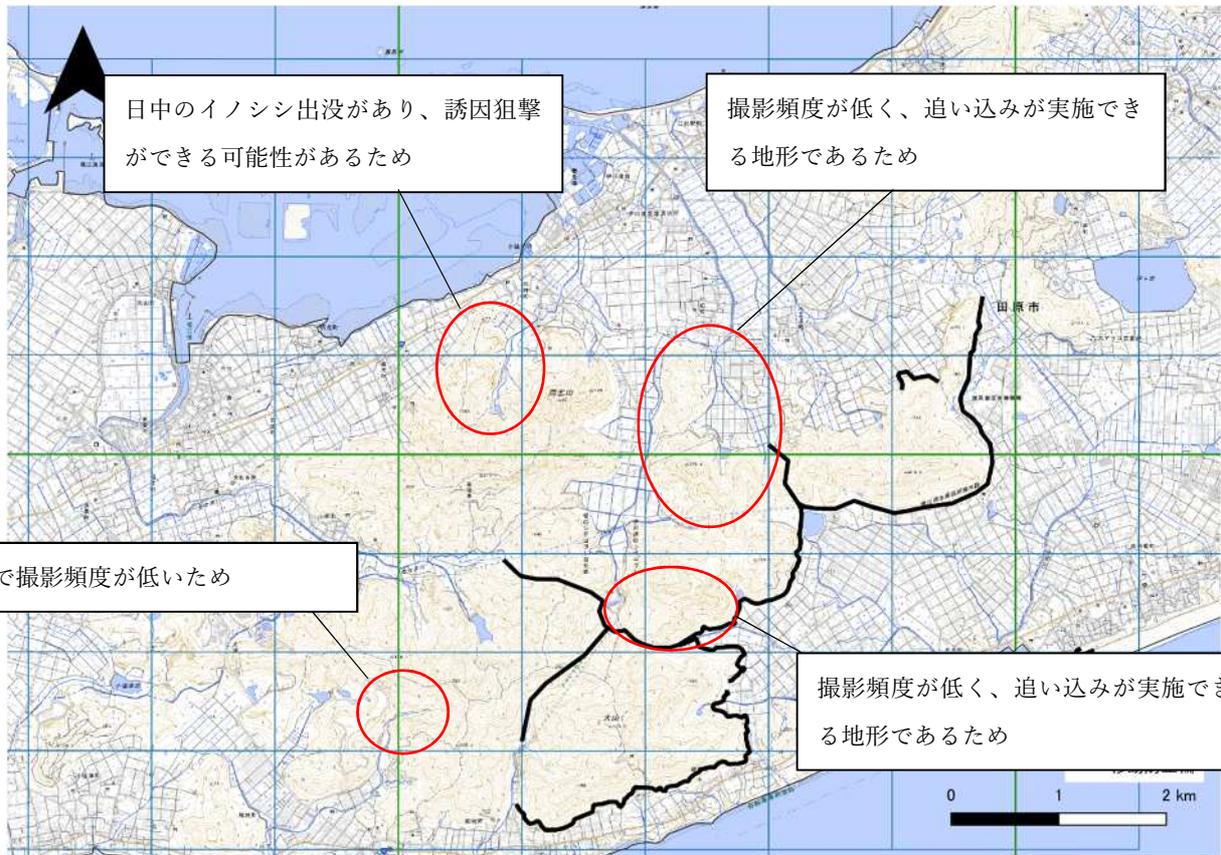


図 5 絞り込んだ候補箇所